

<ひとりだちを誇る自分作り>

活動の名称

ひとりだちを誇る自分作り ～LPO活動で生活の見直し～

団体等の名称

下呂市立竹原中学校

活動に含まれる(連携している)団体等

- 幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
 児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
 病院・保健所 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
 行政(教育委員会) 行政(保健・福祉部局) その他(地域の学校支援組織「竹原っ子会議」)

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

本校では、教育目標「ひとりだちを誇る生徒の育成(自学・自治・敬愛)」に基づき、毎日の家庭生活を、自分で見直し向上させる力の育成を図っている。それは基本的な生活習慣の定着にとどまらず、生徒一人一人が自分の目標をもち、時間の使い方を工夫して毎日の生活を、主体的に充実させることが目的である。

生徒会が中心に取り組み、毎日の家庭学習、デジタル機器の使い方、睡眠時間の確保、調和のとれた食事など、自分で計画実践・評価を継続し、ひとりだちの力を育成する。

◆ 主な活動内容

- ① 生活委員会(生徒会)提案の「LPO活動(ライフ・プラン・オペレーション)」
・帰りの会に全校で時間を取り、自分のファイルに、付箋紙で帰宅後の時間の使い方の予定を立てる。実際の過ごし方に合わせて、その付箋紙を移動させて、毎日記録し、継続的に自分の生活を見届け見直し、改善する。
- ② PTA母親委員会主催、「LPOボックス」の取組で、デジタル機器の約束作り
・生徒会「LPO活動」に協力し、夜9時以降はデジタル機器を「LPOボックス」に入れて家庭で管理。PTA総会等で生徒会役員と保護者が話し合い、意識を高める。
- ③ フレンドリーデー(フレンドリー登校)の実施
・毎週月曜日の朝は、1年生を誘い全校で徒歩登校とレクリエーションを実施する。学年を越えた仲間づくりや学校生活への不安を和らげる和気あいあいとした登校で、週の初めの朝の習慣作り。笑顔で関わり、全校が徒歩で登校(保護者の送迎でなく)できるようにする。

◆ 活動の成果と今後の展望

- 「LPO活動」を行うことで、帰宅後すぐに家庭学習に取りかかったり、ゲームをする時間が短くなったりと、時間を意識し過ごす生徒が増えた。帰りの会で、家庭での学習方法の工夫等、仲間同士の関わり合いが増えた。
- 「LPOボックス」を活用し、PTAでも点検カードにコメント入れの評価をすることで、デジタル機器の家庭での使用時間や使い方が向上した。家族との関わりが増え、家庭の約束作り等を通して、家族の意識が高まった。
- 「フレンドリーデー」では、朝活動等をやめて全校で取り組むことで、月曜日からの登校しぶりが減少し、中1ギャップ解消にもつながった。生徒会が、短時間でのレクリエーションを工夫したことで、全校が楽しんで活動できた。
- PTA母親委員会と生徒会が連携して「朝食作り」と「弁当作り」を継続する事で、食に対する意識が高まった。
- ※ 生徒会を中心として、自分たちの願いをもとに自分たちの生活を見直し、工夫改善する活動を継続する。
- ※ 生徒会合言葉「地域と共に生きる竹原中」をもとに、生活作りについても家庭や地域との連携を継続して行う。



各学級の帰りの会で「LPO」



保護者との連携による「LPOボックス」の設置



先輩と仲良く「フレンドリー登校」